

事業報告

令和5年度 新任社会教育行政職員・新任社会教育主事研修

日時：令和5年6月2日（金）10：00～16：00

会場：大分県立図書館 第2・3研修室

参加者：45名（14市町村39名、県3所属6名）

<趣旨>

生涯学習・社会教育を推進するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけることにより、社会教育行政職員及び社会教育主事としての使命と役割を理解する。

併せて、参加者同士の交流をとおして人的ネットワークの構築を図る。

<研修内容>

【事前学習用動画】

作成者：大分大学教育マネジメント機構基盤教育センター 岡田 正彦 教授

研修1の事前学習資料として、参加者の事前学習用動画を作成しました。
のべ90名が視聴しました。
※現在でも「まなびの広場おおいた」で視聴可能です。

1. 社会教育行政職員の職務と社会教育、生涯学習の現状

(1) 社会教育の概念と意義

- ・社会教育とは、「学校教育法に基づき、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動」（社会教育法第二条）

↑

- ・公的・組織的な教育活動の内学校教育で行われるもの以外全体をカバーするという規程（対象は広い（乳幼児から児童生徒の課外での教育、成人、高齢者まで）がそれを手厚く行う教育資源（経費、人）は確保できておらず、限られた資源を効果的に用いて大きな効果を生み出す工夫（重点化、連携・協働など）が必要

【研修1】10：20～12：00

講義：「生涯学習・社会教育の基礎知識と行政職員への期待」

講師：大分大学教育マネジメント機構基盤教育センター 岡田 正彦 教授



社会教育行政職員及び社会教育主事の職務、現状と課題、事業の推進にあたり意識すること、等について、具体的な事例を示しながらの講義でした。

【研修2】 13:00~13:30

講義：「大分県の生涯学習・社会教育の現状と課題」

講師：大分県教育庁社会教育課 生涯学習・社会教育推進班

主任社会教育主事兼参事（総括）

馬場 尚登

地域の活力低下や環境の複雑化等、大分県の生涯学習・社会教育の現状と課題解決に向けた施設別の取り組み等について説明がありました。



【研修3】 13:30~15:30

講義：「個人の力量向上と他部局との連携」

ワークショップ：「社会教育事業の企画・立案」

講師：大分大学教育マネジメント機構基盤教育センター 岡田 正彦 教授



講義は、途中バズ・セッションをはさみながら、社会教育行政職員としての力量向上に向けて必要な知識や技能について講義がありました。また、他者との連携による効果的な事業実施について、事例を挙げながらの講義でした。

ワークショップについては、グループに分かれ、参加者が担当している事業についての説明と情報交換を行いました。

<参加者感想>

- 今年配属されて、社会教育の意味すら曖昧であったが、仕事の目的とこれからの課題が見えた気がした。ためになった。
- 今までぼんやりとしていた社会教育というものや、悩みの正体がわかった気がした。
- ワークショップでは、他市の取り組みを聞いて、同じ社会教育でも全く異なる様々な事業があり面白いと感じた。他市との取り組みの交流ができ、濃い時間となり良かった。
- これから社会教育課で働く上での明確なビジョンと目標が見えた。